昭和42年8月12日第三種郵便物認可　年6回(1,3,5,7,9,11月)1日発行　第595号

今月号の紙面

令和2年度事業の実績と令和3年度の計画…２面
としまMONOづくりメッセ告知…２面
地域団体の活動報告……２面
経済センサス調査実施のお知らせ…２面
東京都から2020世界発信プロジェクト告知…３面
地域団体事業告知（江東産業まつり）…３面
工団連からのお知らせ……３面
連載企画「企業リレー探訪」…４面
工団連からの活動報告・お知らせ…４面

工団連

発行所
一般社団法人　東京工業団体連合会
東京都中央区銀座２－10－18
東京都中小企業会館５階
電　話（03）3546－2525
ＦＡＸ（03）3546－2853
（購読料１部100円、年間600円 会費より徴収）
https://www.tokyo-koudanren.or.jp

工団連「助成事業」の積極的活用で

団体・会員企業の更なる活性化を！

工団連は平成25年度（専門家派遣事業は平成24年度）より東京都・都議会関係機関などの支援のもと「ものづくり基盤技術強化支援事業」「専門家派遣事業」「依頼試験等助成事業」の3事業を推進してきた。コロナ禍の困難な状況下で活動を続ける会員団体・企業の皆様に、本稿で改めて事業を紹介し今年度も積極的な活用をお願いする。

「ものづくり基盤技術強化支援事業」は地域の工業・産業団体の活動に対して支援するもの。団体自らが会員企業を対象とした事業を企画・実施に際し利用するものです。

平成25年より本格スタートした本事業は、この間、現場の実態に即して改正されより利用し易い制度となっている。

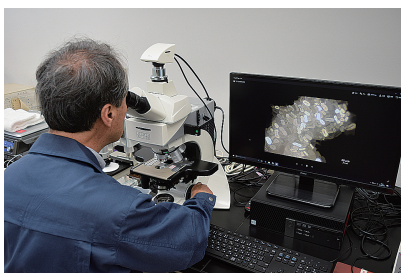
年々、活用団体・事業の事例も増加していたが令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け減少に転じた。

令和3年度も同様な環境の継続が予想されるが、地域会員団体や会員企業のより一層の活用を期待したい。

他方「専門家派遣事業」「依頼試験等助成事業」は地域団体の会員企業が直接利用する助成事業である。コロナ禍においても2事業とも多くの会員企業に利用されており今年度も引続き積極的な活用を期待したい。

ヴァーチャル産業交流展2020 仮想ブース

ものづくり現場風景


都産技研での依頼試験風景

【ものづくり基盤技術強化支援事業】

東京都内で活動するものづくりの中小企業を取巻く環境は昨年来継続している新型コロナウイルス感染拡大が追い打ちをかけ先行き不透明な状況となっている。

本事業は工団連に加盟する地域の工業・産業団体等や会員企業が、ものづくり現場を取巻く厳しい経営環境に対応するために必要な基盤技術を強化する取組みに対し、東京都からの支援を受け工団連が費用の2／3を補助するものです。

（事例1）展示会の開催や出展への支援

◆地域団体が自ら展示会や見本市などを開催したり、自治体や企業・団体などが開催する展示会や見本市に出展し会員企業の優れた製品や技術のPRや販路開拓を支援する活動に助成するもの。

これまでは、会場においてリアルに開催される展示会が主であったが、コロナ禍の影響によりオンライン（ヴァーチャル空間）での展示会が主流となり、これまでとは異なった対応が求められる。

しかしながら、ものづくりを目的としたオンライン展示会への出展は、地域会員団体が会員企業を取りまとめての出展の場合は従来通り助成の対象となり、その際の出展料、団体が主体となってのコンテンツ・販促物作成等の委託費用が助成対象となる。

（事例2）先端・先進工場、施設の視察研修

◆ものづくりの先進工場や先端技術の視察を通して、会員企業の意識改革や人材育成、また最新技術の習得による技術向上に繋げる活動への支援。

近年は団体に所属する優良会員企業を視察するケースが多い。

＊一般の見学ルートのみの視察は不可で、視察先での質疑応答なども含め、視察の目的を明確にした、ものづくりの専門団体・企業として今後の企業活動に活かされる様な活動が対象となるがコロナ禍では制約がある。

《活動例》

・「会員企業優良事業所視察会」「先進事例から学ぶものづくり企業の課題」「ものづくり先進地域や企業視察」

・予め課題を持ち、視察先と現場での質疑応答による課題解決の場の創出が有効です。

《助成対象経費》

・現地まで及び視察先での交通費（バスの借上げ費用、高速道路代、駐車料金、視察先の説明者への謝金）等が助成対象となります。また、工程が2日間に渡る場合でその目的・必要性が認められる場合には、宿泊費の一部も助成対象となる。

（事例3）

◆ものづくりをテーマにした研修会や講演会の開催により、会員企業の経営者・従業員の知識習得、意識の向上を支援する。

コロナ禍においては、オンライン開催やハイブリッド開催（会場とオンライン同時開催）も対象となる。

《活動例》

・「ものづくりをテーマにした注目企業経営者講演会」「ものづくり技術・サービス伝承講座」「次世代技術セミナー」「専門技術研修」や注目・話題のテーマ、講師による「産業振興セミナー」等の開催。

《助成対象経費》

・講師謝金、会場・施設借上げ費用、資料作成・印刷等（外部委託費）が助成対象となる。

＊なお、コロナ禍の現状においては事例1～3で紹介した事業は対面での実施が主となり困難が予想されることから非対面での検討・工夫が必要。

（その他事例）

◆また、「ホームページの新規制作」による団体の情報発信力強化を目的とした事業も支援の対象となる。

《助成対象経費》

・ホームページ制作に係る外部委託費（リニューアルは助成対象外）

【補助内容】

・事業1件当たり360万円を限度として2／3の補助率で助成

＊残り1／3の経費について、区市等自治体の助成が得られる場合の併用が可能です。

【ご利用の流れ】

利用したいテーマが発生したら工団連にお問合せください。

①申込

・申請書を提出下さい

②審査後に交付決定

③事業の実施

④完了報告

・経費の支払等事業終了後に報告書提出

⑤審査後に交付金額の確定。助成金支払。

事例以外の場合でも助成対象となる場合があるので、利用に際しては工団連事務局までお気軽にお問合せください。

「専門家派遣事業」

経営・技術の課題を解決！

経営・技術の専門家を無料で派遣！

専門家派遣事業は、平成24年度に開始してから10年目を迎えるが、コロナ禍においても活用いただいている。

利用企業からは、専門家からのアドバイスが「すぐに役に立った」「もっと派遣回数を増やしてほしい」などの声を多数いただいている。

会員（新規会員も含む）の様々な経営・技術に関する課題の解決を、経験豊富な専門家が無料でお手伝いします。

コロナ禍においては、条件が合致すればオンラインでのアドバイスも可能となっており、この機会に工団連の専門家派遣事業をご利用いただき、経営課題の解決にお役立てください。

また、本事業の利用をきっかけに入会するケースも多く地域団体においては、新規会員獲得の有力な手段としても活用でき積極的なPRが望まれる。

【派遣する専門家】

中小企業診断士、技術士、弁理士、税理士、社会保険労務士、公認会計士等の公的資格保有者ほか、各専門分野について所定の診断・助言実績のある専門家約120名が登録しています。また、会員企業から推薦された専門家の派遣も可能ですので詳細は工団連の担当者にご相談ください。

【費用】

専門家の報酬、派遣先までの交通費は工団連が負担します。ただし原則として専門家の派遣先は都内とします。都外の拠点への派遣に際しての交通費は、専門家と個別にご相談ください。

【お申込み】

「専門家派遣事業　利用申込書」を工団連のウェブサイトからダウンロードあるいはご案内チラシ裏面に、必要事項を記入・押印の上、会社案内等（※）の書類を同封し、工団連まで郵送でお申込みください。登録専門家の利用申込みの場合は、FAX、電子メールでも可能です。

なお発送から一週間経っても、工団連から連絡が入らない場合は下記までお問合せください。

※会社概要及び所在地が分かるもの。ホームページのプリント可。（ない場合は結構です）

【ご利用の流れ】

①**お申込み**（用紙は工団連のウェブサイトからダウンロード、ご案内チラシ裏面）

②**専門家のマッチング（または企業推薦）**

専門家を指名することもできます

③**派遣実施計画作成**

相談にもとづき専門家が作成します

④**専門家の派遣**

原則、最大5回

⑤**利用報告**

工団連に報告書を提出いただきます（これを持って事業終了とし、専門家への報酬支払の手続を始めます。）

「依頼試験等助成事業」

工団連では、製造事業者等が技術開発及び製品開発や技術革新の際に必要となる依頼試験、技術支援や開発支援等を受ける際の経費の一部を助成しています。

なお、申込みと試験実施が同日で、工団連への申込みが実施日以降になる場合でも受け付け可能ですので、担当者にご相談下さい。

Ⅰ　事業内容

「工団連」の会員である都内各地区の工業・産業団体に加入している会員の製造事業者等が、技術開発及び製品開発等に係る課題の解決又は技術革新を図るため、試験研究機関で依頼試験等を行う場合、利用の際に要する経費の一部を助成する。

Ⅱ　助成限度額

上限20万円（対象経費の2／3以内）

同じ年度内であれば上限に達するまでは何回でも利用出来ます。

Ⅲ　助成対象経費

助成対象経費は、次の[1]に掲げる試験研究機関が提供するもので、[2]に掲げるサービスを利用した場合の利用料金です。

[1]　試験研究機関

(1)大学又は高等専門学校

(2)東京都立産業技術研究センター等の国・地方公共団体が設立した機関

(3)その他の認定機関

[2]　サービス

(1)依頼試験

(2)オーダーメード試験

(3)実地技術支援

(4)試験機器の利用

(5)オーダーメード開発支援

Ⅳ　申請要件

・工団連加盟の地域団体の会員企業（新規会員含む）

・同一の依頼試験等を対象として、国又は地方公共団体その他の機関から助成金等を受けていないこと。

・法人事業税、法人住民税等を滞納していないこと

Ⅴ　申請・請求時に必要な添付資料

1　申　請

(1)利用する試験研究機関及び依頼試験等の概要がわかるもの。

(2)前年度の法人事業税、法人住民税の納付が確認できるもの（納付書等）

2　請　求

(1)依頼試験等の依頼を証する書類の写し助成対象経費の支払いが確認できるもの（領収書・振込依頼書等）

(2)工団連への申込みが試験実施日以降になる場合でも受け付け可能です。

◆各助成事業についての問い合わせ先

（一社）東京工業団体連合会事務局

☎03－3546－2525

https://www.tokyo-koudanren.or.jp/

工団連ではこれ以外にも地域の工業・産業団体と共催でセミナー・講演会の開催や会員企業の従業員を対象とした各種の研修・セミナーを開催し人材育成・教育のサポートをしている。

令和3年度も工団連ではこれらの助成事業を実施するので地域団体・会員企業の皆様の積極的な利用をお願いします。

令和2年度事業実績と令和3年度事業の概要

令和3年度がスタートし各団体においても新年度の事業に着手されていることとおもいます。しかしながら現状は、世界的な「新型コロナウイルス感染」拡大で様々な場面で活動に多大な影響が続いている。工団連では、今年度も「ものづくり基盤技術強化支援事業」の3事業を支援事業の柱として進めて行くが、それ以外の自主事業も含めて、令和2年度の実績報告と令和3年度の計画（概要）を紹介します。

（各事業の概要は1面をご参照ください）

《ものづくり基盤技術強化支援事業》

地域の工業・産業団体が会員企業の支援を通して自団体の基盤強化を目指す事業です。令和2年度は5地域団体が7つの事業で活用。助成金額は245万円で件数・金額とも令和元年度を大きく下回った。

この要因としては「新型コロナウイルス感染」拡大による事業の中止が大きい。申請後に取下げとなった事業は5団体8事業の348万円にのぼり、内3事業は交付決定後の実施直前に中止となるなど大きな影響があった。

活用団体においては団体の活動力強化・会員企業支援で成果を上げたが、令和2年度の特徴を見ると、新たに取組んだ団体は無く、全てが令和元年度に引続きの取組となり、利用団体が固定化する傾向が継続している。

令和2年度に利用した5団体の内訳を見ると2事業以上と複数の事業に活用が2団体で他は1事業となっている。

実施7事業の内容では「展示会への出展助成」が3件、「団体HP新規制作による情報発信力強化」が3件「ものづくり講習会」が1件である。

展示会では2件がオンライン、講習会もオンライン、他はHP制作によるシステム整備事業である。

他方、これまで主体で有った「展示会」はのきなみ開催が中止となった。また「先進施設・工場等の視察・研修」も実施が不可能な状況、それ以外でも「ものづくり講習・研修会」も同様の状況にあり従来型の人的接触が主となる形態での事業実施は困難な状況となっている。

令和2年度は3団体がホームページを新規に制作し、文字どおり団体の情報発信力強化へ取組んだ。

当面は人的接触が制限される状況が継続されると予想され、会員企業との接触には従来とは異なる工夫が求められる。

従って情報収集・提供手段としてインターネット・メールの活用は効果的と考えられ、今年度もホームページの新規制作等情報対応力強化に向けた非保有団体へのPRと支援に注力したい。

本事業は、今年度も工団連の主要な助成事業として進めて行くので積極的な活用を御願いしたい。

〔令和2年度利用団体〕

・（公社）世田谷工業振興協会（実施2件）（中止2件）

・東京グラフィックサービス工業会港支部（実施1件）

・（一社）品川産業協会（実施1件）（中止1件）

・（一社）大田産業連合会（実施2件）（中止3件）

・（一社）板橋産業連合会（実施1件）

・（一社）豊島産業協会（中止1件）

・（一社）練馬産業連合会（中止1件）

《専門家派遣事業》

令和2年度の実績は、実施件数29件（企業）、助成金額328万円で、昨年度と比べて増加となった。利用目的としては、国の「助成金申請のための計画策定支援業務」が全体の半数程度を占め「経営計画策定支援」「経営・業務改善支援」「IT化支援」が同程度で次いでいる。令和元年度との比較では、助成金申請のための計画策定支援業務」が大きく伸長しており「新型コロナウイルス感染」拡大の影響が伺える。

利用企業29社の所属地域団体数は8団体。

そのうち、7社は専門家派遣事業の利用を契機に入会しており、新規会員獲得の手段として有効といえる。

また、事業に対する認知と内容の有効性理解も浸透している。

従って、令和3年度も「コロナ禍における経営力強化」に係る補助金の申請継続が予想され、利用を検討している会員企業には積極的な活用検討を（申込）御願いする。

《依頼試験等助成事業》

令和2年度は件数で14件、金額は132万円であり、令和元年度と比べて、件数・金額とも増加となった。

依頼試験の発生形態として研究機関での申込みと試験実施が同一タイミングで行われるなどの特徴があることから「試験実施後の申請」や「年度内であれば事後に纏めての申請も可能」と変更するなど利便性の向上とPRに努めており、年々認知・理解が高まっている。

ものづくり現場風景

しかしながら、予算にはまだ余裕があり、本年度も更に積極的な利用を呼びかけたい。

《共催での講演会》

それ以外でも、工団連では地域の工業・産業団体と共催で「労務管理セミナー・講演会」「経営セミナー」を開催している。

令和2年度は、1団体と共催で3件の「経営管理セミナー」を開催し地域団体の会員企業が多数参加した。

テーマも「コロナ禍における生活」を題材とした興味関心の深いもので有ったが、同時に新型コロナウイルス感染拡大の影響から開催形態もオンライン（ハイブリッド）へと工夫がなされた。

なお、令和元年度に比べて開催団体が大きく減少しており、こちらも新型コロナウイルス感染拡大の影響が認められる。

今年度も研修・講演に対するニーズは継続するものと考えられるが、人的接触を避けた形態（オンライン等）での開催が求められ、各地域団体との連携を進めテーマ開発、開催形態の工夫等積極的に支援したい。

《工団連自主企画事業》

工団連自主企画事業は令和2年度も、工団連自主企画研修を4月（新入社員ビジネスマナー研修）、10月（中堅・若手社員コミュニケーション力強化研修）、2月（中堅社員リーダーシップ研修）と3回企画した。

共催講演会

しかしながら、4月に開催を予定していた「新入社員ビジネスマナー研修」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受け、開催直前の中止を余儀なくされた。多くの会員企業新入社員の参加が予定されていたが、参加者の安全を最優先の決定とした。

その後2回（10月・2月）の研修については、いずれもオンラインで開催し会員企業社員の参加を得た。

研修も8年目を迎えるが、定例開催化に伴い、継続的な参加企業が増加するなど会員企業の認知・理解も高まっており今後も積極的に事業を進める。

工団連の助成により質の高い研修を低廉な参加費用で提供することは会員企業にとってのメリットは大であり、令和3年度も一部のプログラムのリニューアルも検討しつつ、よりパワーアップした企画を継続したい。

《産業展への出展》

令和2年度も工団連の自主事業として2展示会に出展し、工団連事業のPRと地域団体や会員企業との交流を計画した。

◎「ヴァーチャル産業交流展2020」へ出展

産業交流展も新型コロナウイルス感染拡大防止の影響から、今回は初めてヴァーチャル（オンライン）展示会として開催された。

開催時期は例年の11月から1月、期間も3日間から約1か月へ延長しての開催となった。工団連は後援団体として7回連続の出展となったが、ヴァーチャル展示会へは初めての出展となり、PR用工団連紹介動画、事業説明用シートを新規に作成しての参加となった。

（開催日程）

・令和3年1月20日㈬～2月19日㈮

尚、今年度については、11月にハイブリッドでの開催も企画されており準備を進めたい。

他方、例年2月に出展していた「たま工業交流展」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度は開催中止となった。

展示会への出展は令和3年度も継続予定であるが、地域団体（会員企業）との連携をより強化したいと考えており企画を具体的に検討したい。

令和3年度も「ものづくり基盤技術強化支援事業」「専門家派遣事業」「依頼試験等助成事業」の「3助成事業」を柱に「研修事業」「講演会の開催」「展示会への出展」等を基本に、「工団連主催講演会の開催」など更に新規事業を加えて益々内容を充実させることを企図している。

また加えて「機関紙工団連」、「メルマガ」の内容充実、HPでの告知等情報提供を積極的に進めていく。なお、HPはリニューアル後数年経過しており内容の刷新を検討する。

令和3年度も東京都、地域団体、会員企業との連携を強化して活動を進めて行くので積極的な活用をお願いしたい。

地域からのお知らせ

第14回『としまMONOづくりメッセ』を開催

「としまMONOづくりメッセ」は、区内を中心とした企業・団体の優れた製品や高い技術に加え、飲食・雑貨といった商品の魅力を発信する産業見本市です。

平日は、ビジネスパーソンをターゲットにしたセミナーの実施、休日は一般来場者向けにものづくり体験を実施しております。今回は、新型コロナウイルス対策を徹底し、安全・安心な見本市を目指しております。

一昨年度の様子

この機会をビジネスマッチングや販路拡大、情報収集の場としてお役立ていただくとともに、体験教室を通じてものづくりをお楽しみください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

【会期】2021年6月10日㈭～12日㈯10：00～17：00（最終日は16：00まで）

【会場】サンシャインシティ　展示ホールB（文化会館4F）豊島区東池袋3－1－4

【入場料】無料

【HP】http://www.toshima-messe.jp

【問合せ先】としまものづくりメッセ実行委員会事務局

TEL：03－4566－2742

e-mail：A0029099city.toshima.lg.jp

地域団体ものづくり活動

「新型コロナウイルス感染」拡大で展示会参加など「ものづくり支援活動」に影響が有ったが「ものづくり基盤技術強化支援事業」の助成金を積極的に活用した地域団体の活動状況を「機関紙工団連3月号」の続編として紹介する。

（公社）世田谷工業振興協会は「製造業のための3Dスキャニング活用講座」を3月19日にオンラインで開催した。本研修は、会員企業の社員を対象として、最新の機器を含む5つのスキャナーを使用して講義とデモンストレーションで工程を基礎から応用編迄体感・体験し系統的に学んだ。

会員企業の中堅・若手社員が参加し熱心に学習したが、今回の研修で基礎から全工程を学習した参加者からは「得がたい体験へ積極的な評価」の声があり、今後の実務面での活用に期待が持てる。

ものづくり研修会

令和3年経済センサス活動調査を実施します。

本年6月1日時点における日本経済の「今」を知るため、全国全ての事業所及び企業を対象に行う国の重要な調査です。

「統計法」に基づき義務があります。ので、調査票が届きましたらご回答をおねがいいたします。

調査方法は、紙の調査票とインターネットによる回答方法がありますが、安全で便利なインターネットの回答がおすすめです。

キャンペーンサイト
https://www.e-census2021.go.jp

経済センサス活動調査　令和3年6月1日

ぜひ、インターネットでご回答ください！

全国すべての事業所・企業が対象です。

東京都からのお知らせ

「ビジネスチャンス・ナビ2020」の活用でビジネスの活性化を！

～受発注取引のマッチングサイト～
ビジネスチャンス・ナビ2020
中小企業世界発信プロジェクト2020　チャンスナビ　で検索！

「ビジネスチャンス・ナビ2020」（以下、「チャンスナビ」）は、東京2020大会等を契機とした官民の入札・調達情報を一元的に集約した、オンラインのビジネスマッチングサイトです。登録やご利用はすべて無料となっています。

コロナ禍でテレワークの導入が加速する中、オフィスや自宅にいながら、パソコンやスマートフォンから様々な情報を収集していただけるほか、発注や受注エントリーをすることが出来ます。

コロナ禍で顧客へ積極的に訪問することが難しい中、非対面の新しい営業スタイルとして非常に有用です。

【主な機能】

1．東京2020大会組織委員会・都外郭団体等の電子入札に参加

東京2020大会組織委員会のほか、28の都外郭団体（2021年3月末現在）が、チャンスナビを通じて、様々な案件の入札を行っています。

2．民間企業同士のビジネスマッチング

企業の業種や規模を問わず、物品の調達や新たな技術を求める際に、チャンスナビに発注案件として掲載することが出来ます。また、中長期的なビジネスパートナーの開拓なども案件として掲載できます。

これらの案件に対して、概算見積の提出や技術提案といった受注エントリーも可能です。

〈民間発注案件掲載例〉
・クロム銅の部品切削加工が得意な企業を探しています。
・プリント基板製造企業を探しています
・嚥下訓練器具の販売と開発のパートナー企業を募集しています

このほか、官公庁の入札情報を一元的に閲覧したり、企業情報の検索・発信などもできるサイトとなっています。

【ものづくり案件のマッチング支援】

チャンスナビ運営事務局では、ものづくりに関する発注案件の開拓やマッチング先の紹介にも注力しており、数多くの案件でマッチングが進んでいます。ぜひ、定期的に掲載案件をチェックいただき、販路拡大のツールとしてご活用ください。

〈マッチング案件例〉
・都外に本社を置く製造業の企業から発注された特注の押しばね・引きばねの製造が、発注コーディネータの支援を受けて成約した。
・キャンピングカーの部品を固定するための緩みにくいボルトの製造を発注した案件が、製造業の企業と成約した。

【おすすめ案件通知】

毎日サイトにログインして、掲載案件をチェックするのが難しいという方には、『おすすめ案件通知機能』が便利です。

あらかじめ自社に関連するキーワードや業種等を設定いただくと、該当する案件が掲載された際に、マイページ上に表示されます。さらに、メールでの通知を設定することもできるため、受注機会を見逃すことがありません。

ツイッターでも新着案件を随時ご紹介していますので、是非フォローをお願いします。

○Twitterアカウント：@Chance_NAVI

ビジネスチャンスナビ2020

【充実したフォロー体制】

発注コーディネータや全国ネットワークサポーターと呼ばれる支援者が、発注案件の掲載からニーズに沿ったマッチング先のご紹介まで、円滑な商談をサポートします。

発注コーディネータは首都圏に11名、全国ネットワークサポーターは全国の各地方に計6名配置されています。

各地での支援が実を結び、全国の幅広い地方から掲載された発注案件が、数多く成約し、県をまたいだマッチングも実現しています。

チャンスナビのマッチング事例は「ビジネスチャンス・ナビ2020クローズアップサイト」にてご紹介しています。

チャンスナビの便利な使い方や登録企業をピックアップして紹介していますので、あわせてご覧ください。

https://www.tokyo-kosha.or.jp/sekai2020/bcn/

【利用企業の声】

○店内の備品を環境に配慮したものに変えたいと思い、製品を探していました。

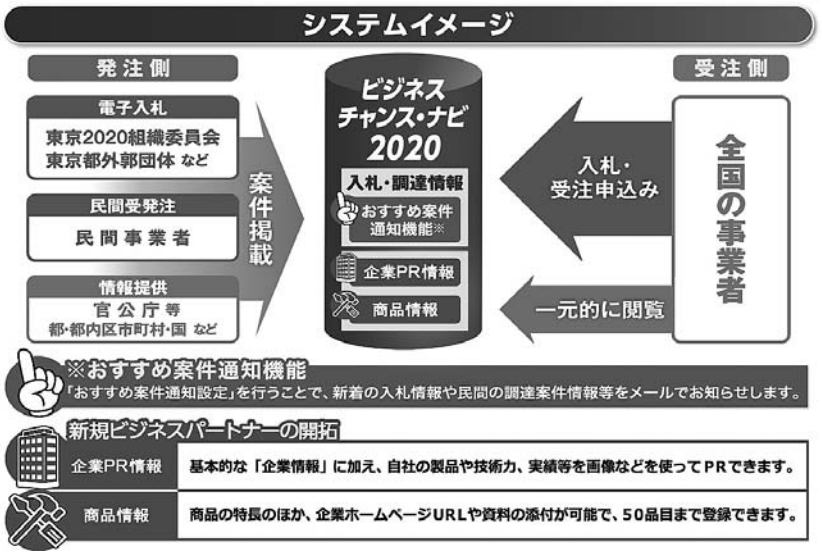
自社だけの情報収集には限界がある中で、発注コーディネータから、私たちが今まさに求めている製品を紹介していただき、とても助かりました。

○以前よりチャンスナビの存在は知っていましたが、活用方法が見えていませんでした。しかし、ネットワークサポーターの支援を受けながら、「自ら持つノウハウ」と「不足するノウハウ」を整理したことで、「自分やこれまでの取引先では手に負えない部分」の解決に、ビジネスチャンス・ナビ2020を有効活用することができました。

チャンスナビの登録企業数は、3万6千社を超えて、今後ますます掲載案件の充実が見込まれます。コロナ禍での受注減少の打開策としても、ぜひご活用ください。

ユーザー登録・ログインもこちらから https://www.sekai2020.tokyo/bcn/

お問い合わせ
ビジネスチャンス・ナビ2020運営事務局
電話：03－5822－7239
メール：sme-webmaster@sekai2020.jp



第32回江東産業まつり開催のお知らせ

江東産業まつりは区内の製造業・販売業を中心とした企業が出展して、区内の産業や製品を広くPRし産業振興・地域交流の一助となることを目的とした展示即売会です。

福引抽選会等のイベントも開催する予定ですので、ぜひご来場ください。

◆日時：令和3年6月19日(土)～20日(日)午前10時～午後4時
◆会場：江東区文化センター（江東区東陽4－11－3）
◆主催：(一社)東京都江東産業連盟
◆後援：江東区、東京商工会議所江東支部、江東区商店街連合会
◆お問合せ：江東産業まつり実行委員会事務局 電話03－3699－7777

なお、「新型コロナウイルス感染」拡大の状況によりましては、延期・中止・規模縮小等の可能性があります。その際にはHP等で緊急に告知しますので予めご承知おきください。

春のスムーズビズ実践期間中

新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力を！

東京都では現在、企業の皆様に「新しい日常」における働き方であるスムーズビズの取組を継続していただき、定着につなげて行くために「冬のスムーズビズ実践期間」（令和2年12月1日～令和3年2月28日）に続いて「春のスムーズビズ実践期間」（令和3年3月1日～5月9日）設けています。

緊急事態宣言期間中は、多くの企業の皆様にテレワーク、時差出勤などに取り組んで戴きましたが、この期間を「新しい働き方」であるテレワーク（終日のテレワーク）や時差出勤の実施、スムーズビズの取組のなど、今後の取組継続のきっかけにしていただくとともに、感染症の拡大防止にもつなげていただきますようお願い致します。

私たちを取巻く環境は厳しい状況が継続中です。

感染拡大防止に向け、皆様おひとりおひとりの一層のご理解ご協力をお願いする次第です。

新型コロナウイルス感染拡大

工団連の活動に影響

3月19日に予定していた令和2年度第4回正副会長会議／第2回理事会の開催を中止とし、審議予定の議案「令和3年度事業計画及び予算(案)」については、工団連定款33条第3項の規定に基づき「一般社団法人・財団法人法96条（理事会決議の省略）による」理事全員の書面同意により採択した。

未だ新型コロナウイルス感染拡大の影響が各所に及んでおり、今年度の事業遂行への影響が懸念されるところである。

工団連ホームページの小規模機能強化のお知らせと閲覧・活用のお願い

工団連では、情報提供機能のより一層の強化を図るべく、本年度も3月にホームページの小規模改修を行なった。

情報提供手段としてのホームページは、標準インフラといえ、スピードと同時にセキュリティ強化を進めて来た。

更に、令和2年度は動画配信機能の強化を目指しユーチューブチャンネルによる動画配信機能を追加した。

従来の動画に替えて、ヴァーチャル産業交流展用に制作した紹介動画をアップした。

現状ではコンテンツは1本にとどまるが、今後は事業別のシリーズ化等の検討も行いラインナップの充実を図りたい。

今後も、東京都等関係機関から提供される「紙の媒体による情報」の迅速かつ的確な提供も含め機関紙「工団連」による事業・活動報告と併せて「HPのリニューアルも含め情報提供力」の更なる向上に注力します。

改めて読者・関係者の皆様の定期的な閲覧をお願いし、内容について忌憚のないご意見・ご要望をお寄せください。

お知らせ

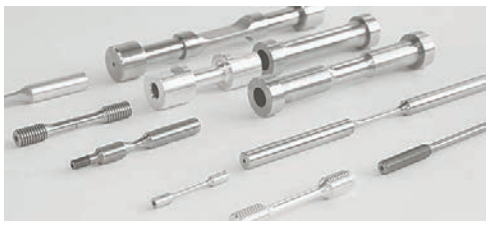
毎号掲載しております東京ビックサイトのイベント案内は、東京オリンピック・パラリンピック開催のため対象イベントが有りません。

そのため、今回は掲載を休止しますのでご了承ください。

企業リレー探訪 ⑮

町工場同士のM&A

株式会社昭和製作所
代表取締役　舟久保 利和


材料試験片

製品加工作業の様子

「実は…」と、年末の挨拶に来られた協力会社の社長の一言から全てが始まりました。2017年の12月の事でした。

当社は1952年に祖父が立ち上げ、現会長の父が引継ぎ、2013年に会長の息子である私が代表取締役に就任し、三代目となりました。

その協力会社とは父の代からのお付き合いで関係も深く、私も小さい頃に何度も遊びに行かせてもらったのを覚えています。

そんな会社の社長から、会社清算の危機であることを聞かされ、非常にショックを受けました。事の次第としては、その社長は創業家のオーナーと血縁関係はない中で、長年会社の切盛りをしてきたのですが、高齢のオーナーが社長や社員の想いとは別に、一方的に会社を整理することを決め、それを伝えてきたとのことでした。

これまでも、お付き合いのある会社が廃業することはありましたが、相談されることは初めてで、私もどうすれば良いか分からず、直ぐには言葉を返すことはできませんでした。

ただ、当社の大事な協力会社であるのと同時に、小さい頃からお世話になってきたその会社の社長や社員の皆が、辞めたくないのに辞めるということは非常に残念で、何とかできないかというもご相談させていただき、全ての条件が揃ったところで、動産・不動産を買い取り、2018年10月から、全く同じ人員で、全く同じ場所で、全く同じ設備で、全く同じお客様とのお付き合いで、新しく「株式会社多幸製作所」として、会社を作りスタートさせました。

今回の事業承継は、広義ではM&Aになると思いますが、株式を売買するような承継を一般的なM&Aとすると、それとは違い、受け渡す側は清算をするという選択をしたので、決算書等に出てこない負の遺産を引き継ぐリスクが無かったことは、大きな幸運でもありました。

そして、なるべくこれまでと環境を変えないようにしたのは、お客様にも社員にもできる限り混乱が起きない様にしたかったからです。

現在では、少しずつ改革や改善を加えて、会社の体制も変えつつあります。前社長のご子息が在籍しておりましたので、次世代は彼と一緒にやっていくことを決め、代表は私が務めていますが、彼には事業所長の役を与え、リーダーとしての勉強をしてもらっています。また、彼はこれまでの図面を与えられて加工をするだけの仕事でなく、自らデザインや設計ができるので、今後はその能力を最大限に発揮してもらい、自社製品の開発にも取り組んでもらっています。

大田区でも1983年に9,177あった工場が、2014年には3,481にまで減っており（「平成26年度大田区ものづくり産業等実態調査報告書」）、今後もその傾向は続くと思います。

当然、時代に合わせたイノベーションは必須ですが、これまで日本を支えてきたものづくりの力を少しでも次の世代に引き継いでいきたいと思います。

大田工業連合会所属

設　立：1952年8月
資本金：2,500万円
事業内容：材料・超音波感度標準試験片、自動車用・医療機器用特殊試験部品、タービン用特殊部品等の製造。

工団連からの活動報告・お知らせ

工団連主催の研修計画
令和3年度「人材育成研修計画（研修会年間計画）」について

本年度も会員企業の人材育成支援を図ることを目的に、企業単独では実施が難しい中小企業の人材育成研修を工団連事業（東京都補助事業）として実施する。

会員企業のニーズに鑑み以下の人材育成研修企画3メニューの研修会を地域33団体との共催で開催する。

工団連が主催することで参加費用も低廉に設定している。本研修の主旨をご理解いただき、会員企業への案内をお願いする。

1昨年の研修風景

◆「オンライン受講型新入社員ビジネスマナー研修」（本紙で既報）
4月5日～6日の両日オンライン研修で実施し好評のうちに終了。
＊来年度も同時期に実施予定

◆若手・中堅社員対象オンラインスキルアップ研修
（対　象）
・若手・中堅社員で部下、後輩育成のスキルアップとコミュニケーション力向上を目指す方
（開催日時）令和3年10月実施予定
（開催期間）1日or2日
（定　員）30名
（研修効果）
・コミュニケーションスキルの理解・獲得により部下、後輩との円滑な関係を築く。

◆中堅社員対象オンラインリーダーシップ研修
（対　象）
・新任管理者、初任管理職（候補）者
（開催日時）令和4年2月上旬予定
（開催期間）1日
（定　員）30名
（研修効果）
・自己のリーダーシップスキルの向上
・組織の動かし方の体得と目標達成の為のスキルアップ
・部下が継続的に育つ組織をつくり上げる。

各研修の詳細が決定次第、所属する地域団体からのチラシ送付、また工団連機関紙・HP・メルマガ等でお知らせします。

新入社員合同ビジネスマナー研修をオンラインで開催

工団連では、本年も令和3年度「新入社員合同ビジネスマナー研修」を4月5日(月)～6日(火)の2日間にわたり、オンラインで開催した。5地域団体、6企業から本年4月入社の新入社員13人のフレッシュパーソンが参加し社会人として初めての講義とグループワークに真剣なまなざしで積極的に取り組んだ。

本研修は、工団連が主催する令和3年度研修企画第1弾として開催したもの。

昨年度は、「新型コロナウイルス感染」拡大の影響から止む無く直前に中止となったが、今年度はオンラインで開催した。

研修の狙いを「学生から社会人への意識の切り替えと新人としての心構えの確立」「ビジネスマナーの必要性の理解と定着を図る」とした。

初日は工団連舟久保会長の挨拶で開講。『コロナ禍の不自由な環境に負けず』『一人一人が各社のかけがえのない貴重な人材であることを自覚』し、『送り出してくれた会社に感謝し、2日間しっかりと学んで欲しい』更に『会社から必要とされる・頼りにされる存在となって欲しい』と新社会人に熱くエールを送った。

オンライン受講の様子

その後は早速初日の講義へと続いた。講義は「学生と社会人の違い」「社会の仕組み」と「自分達のおかれた環境への認識・理解」からスタート。更に「仕事に取り組む姿勢・心構え」と「自己変革の必要性」についてへと進み、最後に社会人としての基本「ビジネスマナーそのものの理解」と「第一印象の重要性」で終了した。

2日目は初日の緊張も和らぎ打ち解けた雰囲気でスタート。「マナーの5原則」更に「敬語・尊敬語・謙譲語・丁寧語の使い方理解」や「実際の場面での言葉使い」などを学習。更に「電話対応・名刺交換・顧客訪問・来客対応・ビジネスメール」など社会人としての基本的な課題を、グループのメンバー相互が実際の行動も交えて実践し今後のビジネスでの活用へ理解を深めた。

2日間の研修終了時には、受講生から積極的な発言も相次ぎ成果がうかがえた。

終了後のアンケートでは、受講者全員から「満足」との高い評価をいただいた。

今回も各地域団体事務局の多大な協力のもと参加者の募集を行ったが、今後も研修企画の一層の充実により会員企業の満足度向上を図りたい。

◆本研修の参加者と所属団体は以下の通り。
（5地域団体　6企業13名）
・（一社）江東産業連盟：1社　3名
・（公社）世田谷工業振興協会：1社　1名
・（一社）目黒区産業連合会：1社　1名
・（一社）大田工業連合会：1社　6名
・（一社）板橋産業連合会：2社　2名

◆アンケート結果
「全体の満足度」では、全員が「満足」と回答（大変満足73%＋満足27%）。また、「プログラムやテーマ」「テキスト」「講師」「時間配分」などテーマ別でも同様の結果で満足度は高かった。

◆受講生の具体的意見
『リモート（オンライン）研修の参加は初めてで初めは不安で有ったが楽しく、有意義な時間を過ごせた』
『2日間でとても濃い内容を学べて有意義な時間だった』
『自分の未熟さ・知らないことがたくさんあったことに気づけた』
『他社の方々との交流は、色々な考え方が理解でき刺激となった』
『社会人として必要な実践的礼儀や心構えなど多くのことを学べた』
『今回学んだことを意識して実務場面で活用（実践）してゆきたい。』

令和3年度理事会・総会等諸会議開催のお知らせ

工団連では、「令和3年度第1回正副会長会議」「第1回理事会」また、「第62回通常総会」ならびに「第1回参与会」を左記のとおり開催いたしますのでご出席方宜しくお願い致します。

◆「令和3年度第1回正副会長会議」「第1回理事会」
日時：5月11日(火)
14：30～（正副会長会議）
15：00～（理事会）
会場：東京都中小企業会館9階講堂

◆「第62回通常総会」
日時：5月25日(火)
15：30～（通常総会）
会場：銀座ブロッサム中央会館7階

◆令和3年度第1回参与会
日時：6月3日(木)
15：00～
会場：東京都中小企業会館9階講堂

なお、「新型コロナウイルス感染」拡大の状況によりましては、変更・中止の可能性がありますので、その際には工団連HP・メールマガジン等で緊急に告知しますのでご承知おきください。

一昨年の総会風景